

## ひろば

代

平成元年5月  
大代公民館

## 敬老の日

みんなで築こう

豊かな老後、大代町

戦前、戦後を通じて、多年に亘り、社会の為に盡され、子弟の育成に努められた御老人を国民こそって敬愛すると共に長寿を御祝いする日です。

大代町では来る9月1日、10時30分から大代中学校屋内に於て、百五十七名の方々をお招きして敬老会が行われます。皆さんの協力をお願いします。今年から新しく会員と成られた方が11名、そして次の方々が当日々寿、喜寿のお祝いを受けられる事になっています。

★日々寿 (88才) 2人

下市 田辺トク M34、1、22日生

今田アキ M34、4、8日生

★喜寿 (77才) 1人

弓久 巴作 義、右原 渡利忠進

下市 藤島芳香、上市 松島 操

川上 渡井音市、下市 山根正三  
川上 山根シズヨ、上市 木村豊子  
下飯谷 飯田スエノ  
★最高令者

男 右原 武分庄次郎 (93才)

女 本郷 山根 タケ (89才)

★夫婦そろって85才

本郷 原田英一 (85才)

★男女別、年令別集計表

		男	70才	80才	90才	
計	女	55	50	16	3	計
105		49	33	16	3	
		3	0	3		
157		88	69			

★いつまでも御幸せに

同和教育で自覚するもの

公民館運営委員長 田辺 孝

つたく周囲を無視した生き方や、他人を犠牲にしてかえりみないような生き方が横行し、自己本位の衝動的な享楽主義がのさばっています。暴走族がそういうです。

動物の世界では、弱いものは多数で仲間をつくつて自分たちを守っています。これは自然の摂理といえます。

「考える動物」である人間が、バラに分裂して反目し合うなどということは、まさに人間性の喪失というべきです。現代社会（世界）における多くの人々の不幸は、分裂と差別にもとづいて展開しているといえましょう。

同じ人間同志のつながりの愛と調和こそが進歩をもたらし幸せとなるのです。

私たちは大代町の住民としてのつながりをもっています。だから、より人間的社會的連帶感を持って、大代町の集團の中に自分を生かし、大代町の集團とともに成長し、集團の協力によって大代町を発展させていきたいのです。

さてこの交流は人間のつながりを大切にしている行事ではないでしょうか。

人間のつながりのわからない社会では、人の悲しみがわかるどころか、ま

（次回は、人間のちえを考え合いたいと思います。）

心から御札を申し上げます

東京都世田谷区 渡 弘文

拝啓残暑きびしい毎日でござりますが其の後如何お過ごしでしょうか。

過日は特望の「ふるさととの交流会」参加させて頂きました處、中学生、

保存会の皆さんとの鮮やかな田植ばやしに引き続き、高山神樂や安来節等、懐かしい郷土芸能の数々を初め、町内孝

げての至れり尽くせりの心温まる」歓待に接しまして故郷ならではの楽しくも又和やかな雰囲気に陶酔しながら、時間の経つのも忘れ、お開きに至る迄御厚配を満喫させていただきました。

例年の事乍ら皆様方の変わらぬ細やかな心遣いの程只々感激の極みでござります。

更に、十八日夜はお疲れにも拘らず私共の為に有志の方々から過分な宴席をお設け下され、これ又遅く迄ご懇切なるご供応に預かりました上、色々と有意義なお話しの会を催し下され重ね（の御心配りを誠に有り難く心から御礼申し上げます。

お陰様でシニシニ誇り得る「ふるさ

と」に遭まれた幸運を噛みしめ乍ら、名残惜しくも二十一日帰京致しました。

何分にも八十五才の馬令を重ね、こ

れから先何年この様な得難い感激と喜びを味わう事が出来ますか、先行き一抹の寂しさを覚える今日この頃です。

皆さんの温かいご厚誼と御鞭撻を心

の糧としましてこれから残り數い余生を出来る限り生き甲斐あるものにしたいと念願しています。

尚今秋開催予定の東京石見高山会には是非多くの皆様方をお迎えして楽しい交流の喜びを再現したいものと、ひたすら御上京の折を御待ち申し上げております。

皆様方の御自愛専一に遊ばされ、御健康と御多幸を心から御祈り致します。

謹候

敬具

「ギックリ腰」

（田中亦應急手当の知識より）

ぎっくり腰は筋ちがいの一様です。

筋肉を極度に使つたり、ひどく伸ばした時に筋肉を構成している筋繊維や結合組織、また腱などが傷ついて内出血を起こし、動かなくなつたものです。

治すには初めの安静が大切で、初期の不養生の為、病状が長引く事があります。

（1）安静が第一

出来るだけ楽な体位で、体をエビの様に丸めて横になるか、仰向けで、ひざの下に毛布を丸めたものを支えにして寝ます。

（2）筋ちがいを起こした腰の筋肉のところが赤くなつていたら冷やす事（3）一日か二日寝て居て、痛みが静まつたら医師の診療を受けましょう。

郷土の良さを語ろう

館報編集委員会



代町の良さを語り、その良さをPRしてこそ大代町の活き活き町づくりの再認識につながるのではないかという趣旨で、集会を持ちました。会合の周知は町の中央に掲示しましたが宣伝不足で今回は数名の人しか集まりませんでしたが、大代に長く住み自分の心中

でよく納得してお互いに静かに味わつて

大代に住んでいる感動を二人でも三人でも出し合い、いずれ大きな輪となって明るい環境に整えていくことは私たちの郷土での大切な生き甲斐だと思います。

お互いに町の暗い面ばかり見るのではなく明るい良い面を見て楽しく過ごせる人生は幸せといえましょう。

これからみんなで語り合い大代町をPRする良さの視点として

☆歴史、伝統、自然は

☆産物や郷土の味覚は

☆やすらぎ、うるおいに満ち居心地のよい風土は

この三点の形成のイメージを時間をかけ話し合いすばらしい大代町にまとめていき、郷土大代に住む生き甲斐と誇り、楽しさを味わいながら生活を送りたいのです。

郷土

「空気は非常にきれいで水も清くおいしい

一周囲は大江高山を中心とする緑の山々がつらなり自然環境は絶好です。

二奇麗な篠志家が点在し郷土に幸せを

もたらしています。

\*花を街に飾つて美しい町づくり

奉仕活動につとめておられる

\*ゴルフ場の整備に献身的奉仕をつづけておられる

「家庭の向上と郷土の発展の為活動に盡力し、大田市一と評価を受けている婦人会の存在があります。

「大代商店街百米の間に各官公庁、神社寺院、医療機関等が集落しており極めて便利です。

「相互扶助に富んだ住民性を備え力強い生活の支えとなっています。

「伝統芸能の田植ばやし（大田市指定文化財）や子供神樂など中学生や小學生により伝承されています。

おしらせ

★四日市 森田ヨシエ様より

座布団 三〇枚

御寄贈 有難うございました。

★赤ちゃん誕生

おめでとうございます。

柿田 岡田繁樹さん

身者、相互のつながりが密で郷土出身者も陰に陽に郷土の発展維持に支援が盛んで、町内の各施設等が充実しつつあります。

四日市 中垣弘治さん

「青年のグループ活動が盛んになっています。

生活のしおり

＝湿った靴を早く乾かすには＝

長雨の昨今です。雨などで湿った皮靴を乾かすには新聞紙を丸めて靴の先に詰め、出来るだけ水分を吸わせるようになりますが、少しでも早く乾かしたい時は、火にあぶった新聞紙を使うといいでしょう。

湿気の吸収が良くなるのでそれだけ乾きが早くなります。  
黒の靴は汚れがよく目立ちます。外出先などで靴ブラシがない時は新聞紙を丸めて柔らかくしそれで磨くと、きれいになります。

